

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2001-237903(P2001-237903A)

【公開日】平成13年8月31日(2001.8.31)

【出願番号】特願2001-2734(P2001-2734)

【国際特許分類】

H 04 L	27/01	(2006.01)
H 04 B	3/06	(2006.01)
H 04 B	7/005	(2006.01)
H 04 L	25/03	(2006.01)
H 04 L	27/38	(2006.01)

【F I】

H 04 L	27/00	K
H 04 B	3/06	A
H 04 B	7/005	
H 04 L	25/03	C
H 04 L	27/00	G

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ディジタル伝送システムのための通信方法において、既知の第1および第2シンボルシーケンス($\{s_1, s_2, \dots, s_M\}$)が送信され、前記伝送システムの周波数オフセット(F)が、第1シンボルシーケンスに対応する受信信号(r)の第1部分(1f_M)を第2シンボルシーケンスに対応する受信信号(r)の第2部分(2f_M)と比較することによって推定され、前記伝送システムのパルス応答(h)の絶対値の2乗が、受信信号(r)の第1および第2部分($^1f_M, ^2f_M$)のそれぞれの第1または第2シンボルシーケンス($\{s_1, s_2, \dots, s_M\}$)に隣接するシンボル(x)の影響を減少させるために時間領域で低減されることを特徴とする通信方法。

【請求項2】 第1および第2シンボルシーケンス($\{s_1, s_2, \dots, s_M\}$)が互いに同一であるように選択される請求項1記載の方法。

【請求項3】 前記伝送システムのパルス応答(h)の前記領域の絶対値の2乗の低減がフィルタ(14)を用いて行われる請求項1または2記載の方法。

【請求項4】 前記伝送システムのパルス応答(h)が推定される請求項1、2または3記載の方法。

【請求項5】 前記フィルタ(14)の係数が、推定されたパルス応答(h)によって決定または適応される請求項4記載の方法。

【請求項6】 前記伝送システムのパルス応答(h)のある領域のエネルギーが、オール

パスフィルタ（14）を用いて、パルス応答（h）の全エネルギーに比べて低減される請求項1ないし5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】 前記オールパスフィルタ（14）が前記伝送システムの低位相パルス応答を達成するように適用される請求項6記載の方法。

【請求項8】 ディジタル伝送システムのための装置（1）であつて、

既知の第1および第2シンボルシーケンス（{s₁, s₂, ..., s_M}）を送信する送信デバイス、及び

第1シンボルシーケンスに対応する受信信号（r）の第1部分（¹f_M）を第2シンボルシーケンスに対応する受信信号（r）の第2部分（²f_M）と比較することにより、前記伝送システムの周波数オフセット（F）を推定することを可能にする比較手段（15）からなり、さらに、該装置（1）が前記伝送システムのパルス応答（h）の絶対値の2乗を時間領域で低減する第1モジュール（14）を備え、前記低減により、受信信号（r）の第1および第2部分（¹f_M, ²f_M）のそれぞれの第1または第2シンボルシーケンス（{s₁, s₂, ..., s_M}）に隣接するシンボル（x）の影響が減少することを特徴とする装置。

【請求項9】 前記第1モジュール（14）がオールパスフィルタからなる請求項8記載の装置。

【請求項10】 前記オールパスフィルタ（14）が前記伝送システムの低位相パルス応答を達成するように適用可能である請求項9記載の装置。